

第31回リバーフロント研究所研究発表会

企画グループ

令和5年10月4日(水)、月島社会教育会館(東京都中央区)にて「第31回リバーフロント研究所研究発表会」を開催しました。

本発表会は、当研究所の河川や湖沼、海岸などの水辺に関し、健全な水循環系の再生、災害に強靱な都市の形成、川を活かしたまちづくり、自然環境の保全と利用、河川生態の保全や再生、景観形成などに関する調査研究の成果を発表し、広く活用していただくことを目的に、年1回「リバーフロント研究所報告」の刊行にあわせて開催しています。今年は31回目の開催となり、この3年間は新型コロナウイルス感染防止の観点よりウェブでの開催としておりましたが、今年度は会場で対面の開催とすることができました。国土交通省や自治体関係者、学識者、研究機関や民間コンサルタントの関係者、ならびに当研究所のOB・OG等、170名あまりの方々にご参加いただき、活発な意見交換がなされました。

発表会には、国土交通省水管理・国土保全局河川環境課の豊口佳之課長と、名古屋工業大学大学院工学研究科の萱場祐一教授をお招きし、「最近の河川環境行政の動き」、「河道掘削は河川を自然環境をどう変えるのか?—予測・評価の技術展開に向けた考察—」と題してご講演いただき、その後、昨年度当研究所で実施した研究成果から6題の発表を行いました。



豊口課長のご講話



萱場教授のご講話

また、当日の様様を録画したものを抜粋して令和5年11月10日(金)よりオンデマンド配信しております。ご視聴は下記URLより令和6年11月10日13時までご覧いただけますので、是非ご視聴ください。

(https://www.rfc.or.jp/ivent2023_hokokukai.html)

また、今回の発表内容を含めた令和4年度の調査研究の成果「リバーフロント研究所報告第34号」は、当研究所ウェブサイト「リバーフロント研究所報告」(<https://www.rfc.or.jp/book3.html>)にてダウンロードが可能ですので、是非ご活用下さい。

公益財団法人リバーフロント研究所は、皆様からいただいた様々なご意見を踏まえて、今後も河川・水辺、流域に係る諸問題の調査研究等を通じて社会への貢献に取り組んでいきたいと考えております。

○プログラム (於：月島社会教育会館)

代表理事の挨拶 代表理事 塚原浩一
基調講演 (敬称略)

- 最近の河川環境行政の動き
国土交通省水管理・国土保全局河川環境課
課長 豊口佳之
- 河道掘削は河川を自然環境をどう変えるのか?
—予測・評価の技術展開に向けた考察—
名古屋工業大学大学院工学研究科
教授 萱場祐一

研究発表

- 河川環境管理シートに関する手引きの更新と活用方策に関する研究
自然環境グループ 主任研究員 白尾豪宏
- 光学衛星画像データを活用した河道内地被分類(植生、土砂)の推定に関する研究
自然環境グループ 研究員 森本洋一
- 災害時等における非常時地下水利用システムの開発
主席研究員 宮川幸雄
- 高台まちづくりの利活用に関する一考察
水循環・まちづくり・防災グループ
研究員 藤井明子
- 3次元河道設計による多自然川づくりの検討の新たな試み～九頭竜川を例として～
自然環境グループ 研究員 福嶋克武
<現 株式会社建設技術研究所>
- 円山川水系自然再生における湿地環境の創出
自然環境グループ グループ長 都築隆禎

閉会の挨拶 技術参与 内藤正彦